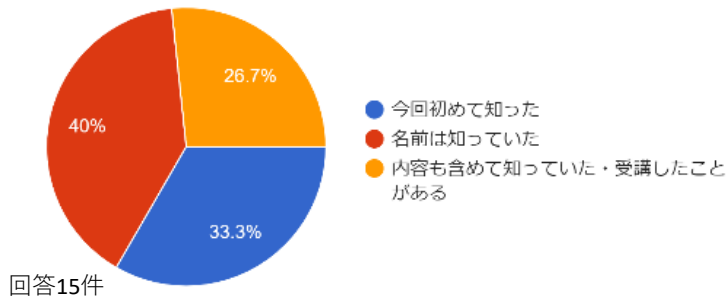


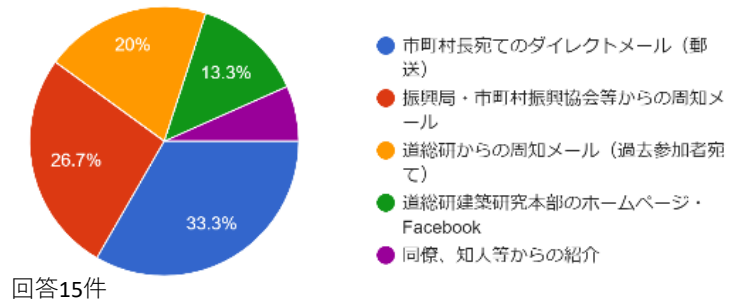
参加者の声 (アンケートより)

I. ウェブ参加者

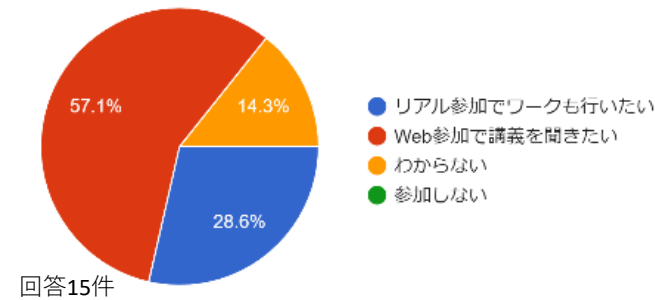
●今回受講する以前から「道総研まちづくり塾」をご存知でしたか。



●「道総研まちづくり塾」はどのようにして知りましたか。



●来年度の「道総研まちづくり塾2022」への参加希望



<具体的なコメント>

- ローカルベンチャースクールの取り組みについて。実施するには相当ハードルが高いが、本気で厚真町への移住と起業を考える人を応援するこの仕組みは町にとって非常に意味のある施策だと思います。
- どの講義についても非常に参考になりました。厚真町の宮氏、夕張市の稲葉氏の講演を聞いて、お二人が町のために熱意をもって働いていることが伝わり、同じ自治体職員として参考になったし、勇気をもらえました。ありがとうございました。
- 職員の業務一つ一つがまちづくりに繋がっているといった考え方はどの部署であっても大切なことだと思います。 など

II. フル参加者

<得たもの・自分の中で起きた変化など>

- フューチャーデザインの考え方や、新しい考え方を学ぶことができ、今後の参考になった。また、他町の意見や考え方も学ぶことが多く勉強になった。今後のまちづくりにおいて、今回の経験を生かしていきたい。
- まちづくりに携わっていたが、講演やフューチャーワークなどを通して自分事に考えられていなかったのだと感じた。先を見据え、何をしていくべきか、そのためにどうすれば良いか、自分事に考え、今後の取り組みとしていきたい
- 発表の中では多少大げさに言った部分もあったかも知れないが、今回考えた未来に少しでも近づけるように今後も自分自身でも考え、行動していかなければいけないなと思いました。
- 未来の視点でまちづくりを考えることで、現在、取り組みを進めることは何か、現在の町の課題や、取り組んでいる事業の方向性について深く考えることが出来た。 など

<将来の参加者へ一言>

- まちづくり塾に参加することで、①フューチャーデザインの考え方を学ぶことで様々な考え方ができる。(引き出しが増える) ②日ごろの業務とは、少し離れて市の将来のことを考えることで新たな発想が生まれる。 ③他市町村からの意見等、違う視点から意見をもらうことで新たな見方ができる。 など、さまざまなことを学ぶことができ、通常の業務がまちづくりに関わっていることを理解することができるいい機会だと思うので、ぜひ参加してほしい。
- 自分のまちから離れ、客観的に見直すことで見えてくるものがあると思います。3日間という、長いようでとても短い時間の中で、検討、交流することが自分の成長につながると思います。
- 道総研の方とのやり取りの中で、自分の市町村の新たな魅力が発見されたり、新たな施策のアイデアが浮かんでくると思います。絶対自分のためになると思うので頑張ってください。 など

これまでの開催概要

年度	参加数	外部講師
2017年	4市町9名	東川町 松岡町長
2018年	5市町10名	(株)三菱総研 山田シニアコンサルタント
2019年	4市町9名	当麻町 菊川町長、(株)良品計画 鈴木氏
2020年	(14市町) ※ウェブ開催のみ	岩手県矢巾町 吉岡未来戦略室長 富良野市 入交企画振興係長 フラノデザイン(株) 大曾根氏
2021年	3市町6名	厚真町 宮主幹 夕張市 稲葉主任 北海道新聞 本庄記者、金子記者



道総研まちづくり塾は来年度以降も開催します。
自治体職員のみならず、みなさまのご参加をお待ちしております。